

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 7 年 11 月 10 日

設置・運営主体	社会福祉法人 こばと		
設置主体	社会福祉法人 こばと		
経営主体	社会福祉法人 こばと		
事業所名 (施設名)	小鳩保育園南浦和	種別	保育所
所在地	〒 336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和2-42-18		
電 話	048-871-1610		
FAX	048-884-4660		
Email	murawa@kobato.net		
URL	https://www.kobato.net/urawa_nk/		
施設長氏名	山田 麻美		
調査対応担当者	山田 麻美 (所属、職名：施設長)		
利用定員	80 名	開設年	平成 28 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念：豊かな心と健やかな体を育み、生涯にわたる「生きる力」の基礎を培う</p> <p>保育目標：思いやりの気持ちをもつ子ども 自分なりの思いを表現する子ども いろいろなことに興味、関心をもって取り組む子ども</p> <p>保育方針：子ども第一主義 愛情たっぷりの保育 「子どものことを第一に考え、幸せを願います」</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 : 7時00分～20時00分 土曜日 : 7時00分～18時00分		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		3
1歳児	14	14	1		5
2歳児	15	14	1		3
3歳児	15	20	1		3
4歳児	15	21	1		2
5歳児	15	19	1		2
計	80	94	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数	21人		
うち	保育士	17人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	3人	その他(0)人
非常勤職員数	17人	(常勤換算	人)
うち	保育士	5人	(常勤換算 人)
	保健師・看護師	0人	(常勤換算 人)
	栄養士・調理員	1人	(常勤換算 人)
	その他(保育補助 調理補助用務員)	11人	(常勤換算 人)
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2人	非常勤： 1人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 1人
(3) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均年齢	33.3歳(歳)		
(4) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均在職年数	5.2年(年)		
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	502.4 m ²	
	児童1人あたり	5.34 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	0 m ²	
	児童1人あたり	0 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	28年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・送迎時や日常のやりとりを大切にしながら保護者の方と積極的に関わりを持って、子育ての不安や悩み等を気軽に話していただけるような関係づくりを心がけている。
・連絡帳や送迎時の際に伺ったご意見等は、職員から園長に共有し速やかな対応に努めている。必要に応じて保護者全体へ情報を提供している。
・利用のしおり(重要事項説明書)内に園への苦情、要望等受付の記載をし、入園説明会、クラス懇談会で説明を行い、相談がしやすい環境を整えている。
・年に1回匿名回答にて保護者アンケートを実施し満足度や要望を伺い改善に努めている。
クラス懇談会時に回答、説明を行い改善、検討に努めている。
・行事後、保育士体験後には、保護者アンケートを通して保護者の方のご意見やご感想を伺い、いただいたご意見を次の活動へ活かす取り組みを大切にしている。
・年に2回、クラス懇談会を開催している。保護者同士の親睦を深めるとともに、園での取り組みや子ども達の様子を共有する機会となっている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・子ども達の「やってみたい」「知りたい」を大切に、子どもを中心に考える保育を大切にしている。子ども達が、さまざまな体験を通して心豊かに感じ、思ったことや感じたことをのびのびと表現できるように環境を整えている。戸外遊び、探索遊び、歌、楽器遊び、工作、情操教育などの活動を通して、感性や想像力を育み、友だちとの関わりを通して思いやりや協力する心を育てている。

・子ども達が地域や自然に親しみを持てるよう、近隣の公園清掃活動等に取りくんでいる。

皆で協力しながら行うことで思いやりや社会性を育てている。

・子ども達との交流や体験の場として、地域の小学生を対象に保育士体験を受け入れている。こぼとまつりの準備、サポートなど、ボランティア活動を通して、保育士という仕事への理解を深めるとともに、園とのつながりを感じる機会を提供している。

・日々の子どもの様子を職員同士で書きとめ共有するファイルを設けている。

子どもの成長や頑張りを職員同士で共有し、子ども一人一人に寄り添った丁寧な保育を行えるように取り組んでいる。

・配慮が必要な園児には、一人一人の特徴や発達に合わせた支援を行い、安心してのびのびと過ごせるよう保護者と連携を行い育ちを支えている。

・子ども達が、食への関心や感謝の心を育めるように、食育活動を行っている。プランター-菜園での野菜栽培や収穫、旬の食材を使ったクッキング体験などを通して、五感で食べ物に触れて、学べる環境を整えている。

・連携受け入れ施設として、小鳩スマート保育所南浦和と年に数回交流会を行っている。大きなイベント（こぼとまつり・クリスマスパーティー）に呼び、異年齢での交流を深めている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

0 回（平成 年度）